

第1回学校給食における統一基準献立検討部会 議事録

1 開催日時

令和5年6月2日（金）15時00分～16時15分

2 開催場所

S T V北2条ビル4階 教育委員会会議室

3 出席者

(1) 委員 5名

足立委員、下山委員、松宮委員、壽原委員、今野委員

(2) 事務局 8名

近藤保健給食課長、泉栄養指導担当課長、坂本給食係長、

六角給食費事務係長、安達給食制度担当係長、

鴛海栄養指導担当係長、松本栄養指導担当係長、山田栄養指導担当係員

(3) 傍聴者 報道機関関係者1名

4 欠席者

千葉委員

5 開会

開会にあたり、泉栄養指導担当課長から挨拶

【要旨】

学校給食における統一基準献立検討部会（以下「当部会」という。）は、教育長から諮問のあった学校給食における統一基準献立を検討するため、昨年12月に開催された札幌市学校給食運営委員会の本会議において承認をいただき設置した会議体である。

6 部会長の互選

事務局提案が全会一致で承認され、以下のとおり部会長が選出された。

○ 部会長 足立委員（札幌市小学校長会）

7 議事

(1) 検討の進め方及びスケジュールについて

【事務局説明】

令和5年度から採用した学校給食費の公会計制度（以下、「公会計化」という。）に伴い、学校給食の献立については、購入する食材費等が給食費の保護者徴収の基礎となることから、全市で統一化した献立が必要となる。

学校給食の献立は、昨年度まで栄養教諭・栄養士が行政区ごとに基準献立を作成していたが、この過程では、栄養教諭以外の意見を伺う機会がない状況であることから、

公会計化を契機に、学校長、保護者、調理員等様々な見地からの意見徴収や検討等の必要がある。

当部会の第1回目では、検討の進め方及びスケジュールの確認、物価高騰を踏まえた給食食材費の公費負担について説明、統一基準献立の運用の仕方、統一基準献立の4月実施分の報告を行いたい。

第2回目で令和6年度の統一基準献立について具体的に検討し、答申案の作成を行いたい。

【委員意見・質疑応答】

特になし

(2) 物価高騰を踏まえた給食食材費の公費負担について

【事務局説明】

給食費については昨年度の学校給食運営委員会において、給食費を決定し、公会計で運用しているが、昨今の物価高騰の影響により、食材調達費用が保護者から徴収する給食費の額を超過する状況となっているため、国の交付金を活用して札幌市として公費負担をすることとした。

これまでどおり栄養バランスや量などを保った給食を提供していく。

なお、公費負担については各学校から家庭へ周知するとともに、札幌市公式ホームページにも掲載している。

【委員意見・質疑応答】

委員	令和2年度から給食費は上がっていないが、令和2年からの物価上昇率を知りたい。
事務局	食料の平均として12.9%上昇している。
委員	昨年度の給食費は据え置きであった。物価上昇は見込んでいたはずだが、なぜ昨年度は給食費を上げなかったのか。
事務局	保護者負担を考え、給食費の値上げには踏み込めなかった。ただし運営委員会の付帯意見として、物価上昇や献立の工夫で対応できない場合は札幌市で措置するとしたため、補填措置をとった次第である。

(3) 統一基準献立の運用について

【事務局説明】

統一基準献立案については、栄養教諭等が作成した献立案をもとに当部会委員の皆様のご意見を反映させて答申案を作成することといたしたい。そのため、栄養教諭等が学校給食の献立作成で配慮している点について説明する。

まず、学校給食の栄養価は札幌市学校給食摂取基準に基づき作成している。

また、栄養価だけでなく、衛生的な調理作業、安全な食品の選択、望ましい嗜好や良い食習慣の育成、食文化の伝達など食に関する指導との関連、地場産物の活用

などについても配慮している。さらに、給食費の範囲内での作成を行っている。

統一基準献立については、これまでと同様に小学校・中学校それぞれ1種類作成することとし、決定した献立は4回に分けて札幌市の公式HPに掲載することとしている。

【委員意見・質疑応答】

特になし

(4) 令和5年度統一基準献立の運用について

【事務局説明】

令和6年度の献立案を検討するにあたり、令和5年4月に実施した献立についていくつか反省点があげられる。

特に、1か月の中で同じような物資を大量に調達することになるため、食材の確保という面から発注量の調整等について工夫が必要と考えている。

【委員意見・質疑応答】

委員	物資の調達については急な値上がりや品切れも起こっている。 また、各学校での統一基準献立の変更は月に1～2回を目安にするとされている。各学校でもう少し変更する余地があれば、運用しやすくなると感じる。
事務局	給食については学校間の格差が生じないように、各学校での基準献立からの変更回数は1～2回程度としているが、現状を見ながら、今後の運用について検討したい。
委員	中学校の4月の献立を見ると、栄養価が摂取基準を満たしていない日もあるが、仕方ないのか。
事務局	栄養価は文科省の摂取基準に基づき札幌市学校給食摂取基準を定めている。エネルギーや栄養素の一部は統一基準献立を採用する以前から満たしにくいものがあり、基準に近づくように作成している状況である。

(5) その他

【事務局説明】

次回の部会では、栄養価や調理面、衛生面、食材料費、物資の調達等を総合的に踏まえ、各学校の栄養教諭・栄養士の意見を踏まえて作成した献立案を2案ほど提示し、委員の皆様の意見を頂戴したい。

十分な検討ができるよう、事前に資料を送付し確認いただいた上で部会を開催し、答申案につなげたいと考えるが、そのような進め方でよろしいか。

【委員意見・質疑応答】

よい。

【事務局から】

○ 第2回の開催について

6月下旬の開催を予定しており、別途、案内をお送りする。

8 閉会